

「第3次東金市地域公共交通計画」（素案）についての意見募集（パブリックコメント）の実施結果

東金市企画政策部地域振興課

- 1 意見募集期間 令和4年12月15日（木）から令和5年1月13日（金）まで
- 2 意見募集状況 応募者数 4人 意見件数 5件
- 3 意見の概要と市の考え方、修正内容等

No	該当箇所	意見の概要	市の考え方、修正内容等
1	P24 II 地域公共交通の現状	東金線の終電が早いため、終電をもっと遅くしてほしい。	JR東金線の終電が早いことは課題として認識しており、JR東日本へ要望している状況です。今後とも運行時間帯の拡充について要望を継続していきます。
2	P24.25 II 地域公共交通の現状	バスの減便が相次いでいるため、バスの本数を増やしていただきたい。	公共交通の利用者数が増加すれば増便も考えられるため、民間バス事業者と連携して利便性の向上やモビリティ・マネジメント等に取り組み、利用者数の増加を図っていきます。
3	P31 II 地域公共交通の現状	乗合タクシーは予約が取りにくい。いつでも気軽に利用できるようにしてほしい。	当日キャンセル数が多いことで乗合タクシーの予約が取れにくくなっています。今後は予約・利用方法の見直しに取り組み、利用環境の向上に努めていきます。
4	P75 VI 今後の取り組み施策	乗合タクシーに限らず、すべての公共交通サービスについてPRすべき。時間帯によっては学生の利用もあることから中高生向けのPRがあっても良いと感じる。また、イベント会場だけでなく、利用頻度が大きい商業施設、医療施設で直接PRを行う方が効果的ではないか。	公共交通全体の利用情報について、利用実態に合わせた効率的なPRに努めていきます。
5	P76 VI 今後の取り組み施策	遠くに外出せずとも用事を済ませることが出来るのが理想。例えば、行政サービスに関しては近隣の公民館・コンビニ等で済ませることが出来るなら遠くまでの交通手段を必要としないし、移動スーパーがあれば買い物も近隣で済む。 交通サービスに関してだけでなく、包括的なシステムのあるべき姿・外出スタイルの在り方を考えるべきであり、上記施策を行ったうえで公共交通ネットワークの最適化を行うことが望ましいと考える。	持続可能なまちづくりを進めていくために、日常生活の利便性を向上させる取り組みを検討・実施していきます。また、公共交通として上記取り組みと併せて、市内各地域と中心市街地を結ぶ移動手段を確保・維持していくことで住みよいまちづくりに貢献していきます。